



瞳みのるさんも味わった「洋菓子のヒロタ」のシュークリーム

観光客らでにぎわう戎橋。ナンバー一番はすぐそばにあった(大阪市中央区)＝金沢修撮影



戎橋 (大阪市)

ザ・タイガースとしてデビューする前、大阪・ミナミの戎橋近くにあった音楽喫茶「ナンバー1番」でライブをしていました。毎日のように、ビートルズやローリングストーンズなどの好きな曲を好きなように演奏していた。僕にとっては、バンドにとっても、あの頃が原点でした。



瞳みのるさん

ひとみ・みのる 1946年、京都市上京区生まれ。本名は人見豊。67、71年に活動したザ・タイガースのドラマー。解散後は慶応大修士課程を修了、慶応高の国語教師になった。2011年から芸能活動を再開し、自身のバンドで全国ツアーを行ったり、脚本を書いて舞台を上演したりしている。

「ナンバー1番」歌の原点

音楽でメジャーになる夢を抱いて、仲間と古里・京都から大阪に出てきたのは19歳の頃。まだ「ファンシー」というバンド名でした。ナンバー1番は当時、若手バンドの登竜門で、ザ・フ

オーク・クルセーダーズなども出演していました。2000席ほどの客席は、僕らが出始めた頃はいつもまばらだった。演奏回数が少ない月の給料は1人50000〜60000円。お

金がなくて、食事はいつも近くの中料理店で安いギョーザ。給料が入ると奮発してみんながウナギを食べた。「かに道楽」みたいな有名店にはとても行けなかったですね。

西成区にあった本道2階建てのアパート「明月荘」で、5人で部屋を借りていました。3畳一間。家賃は確か3000円。岸部一徳さんと相部屋でした。人気が出始めた頃、どうやって調べたのか、突然女の子が訪ねてきて、初めてファンレターを

デザイン 公募で決定

正確な記録はないが、戎橋は道頓堀川の開削(1615年)と同じ頃に架けられたとされる。元々は木造だったが、1878年に鉄橋となった。現在の橋は2007年11月にできた。鋼製のけた橋で、長さ26m。中央付近がアラスのようにふくらんだデザインは公募で決まった。橋の南側は「戎橋筋商店街」。370坪の区間に約100店舗が並び、休日には約10万人の買い



関西の定番小ぶりシュー

関西出身者に洋菓子の定番を尋ねれば、「洋菓子のヒロタ」のシュークリームの名を挙げる人は多いのではないだろうか。瞳さんも大阪時代に口にした思い出の味だ。

少し小ぶりで、軟らかくて食べやすい生地が特徴。横長の箱にシュークリーム

が4個入った商品(税込み320円)が人気で、「カスタード」のほか、さっぱりとした甘さの生クリームも入った「ツインフレッシュ」、チョコクリーム入りの「チョコレット」もある。創業は1924年。35年に戎橋で実演販売を始め、人気が出た。戦中は休業し

「マチタビ」は、その土地ゆかりの人に、思い出などをうかがいます。



緑や黄色のしま模様で塗られた阪神・岩屋駅(神戸市灘区)＝水尾泰中撮影

物客らでにぎわう。橋の北側には「心齋橋筋商店街」(約150店舗)がある。橋の周辺には江崎グリコのネオンサイン「グリコ看板」などもあり、観光スポットとして、最近では外国人観光客にも人気だ。瞳さんが出演していた音楽喫茶「ナンバー1番」は戎橋筋商店街の北の端にあったが、現在はレンタルDVD店などが入居する新しいビルに建て替わっている。

もらいました。感激したなあ。ナンバー1番での演奏が評価され、メンバー5人で1966年に上京し、ザ・タイガースとしてデビュー。でも、事務所から意に沿わない曲を押しつけられ、だんだんつまらなくなってきた。だから4年で解散してしまいました。僕は高校に通い直して大学に進み、高校教師として第二の人生を歩みました。長らく音楽から離れていましたが、かつてのマネージャーの仲介で2008年に仲間と再会し、沢田研二さんから「ドラムをうまくなりたいけど大丈夫だ」と誘われた。まさか再びやると思っていなかったけれど、11年に沢田さんの大阪でのライブにゲスト出演し、13年には期間限定の再結成も実現しました。大阪での生活は10か月だったけど、東京の4年間よりも濃密でした。9月23日にはアパートのあった西成で僕のライブイベントを開きます。皆さんに喜んでもらえたら、恩返しになるかな。(聞き手・矢野彰)